

青葉区民のための減災ヒント集

災害はいつ起こるかわかりません。

防災は 「いざ…という時」のためではなく
「もしも…という時」のためでもありません。

「防災とは大切なものを守りぬくこと」（山村武彦氏*1の言葉）。
愛する家族、友人、隣人そして住む家、住む「まち」を守るために

「いつも」考えていなくてはいけないことなのだと思います。

災害に備えるとは、いったいどんなことをすればよいのか？

災害が起きた時の対応の仕方は？

災害が起きた時に慌てず、的確な行動するには日頃からどうしておけばよいのか？

そんなことをいつも考えているのが青葉区民会議防災（減災）・防犯・交通部会です。

大地震があるたびに一流される情報を聞きながら、

これが横浜だったら…、青葉区だったら…と、

自分たちの住んでいる地域の特性と比較しながら、備えるために必要な情報を整理しました。

これは青葉区民による区民のための手作りの減災ヒント集です。

防災について考える手助けになれば…と願っています。

ぜひお読みになって私たちと一緒に防災について考えてみませんか。

火事に備える	1
地震に備える	1
都市型水害に備える	4



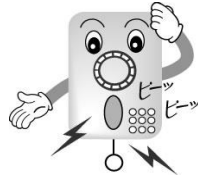
火事に備える

部会員の一人が言いました。

『火災警報器をつける』という前に『火事をださない・・という注意喚起が重要だ』と。火災警報器を設置しても火事は防ぐことはできないのです。火災警報器は火事になった時に作動するものなのだから。

◆火事を防ぐには

- ・歩きたばこや寝たばこをしない。
- ・ストーブの近くに燃えやすい物を置かない。
- ・外出時や寝る前に火の元を確認する。
- ・家の周りに燃えやすい物を置かない
- ・油を使った料理の最中はその場を離れない。
- ・台所など火を使う場所の近くに消火器をおく。
- ・火災警報器を取り付けたら必ず音を確認しておきましょう。
- ・電気器具の使い方にも注意が必要
 - プラグはていねいに扱いコンセントにはしっかり差し込む。(トラッキング防止)
 - タコ足配線をしない。(コードが過熱)
 - ハロゲンヒーターなどにほこりをためない。(発火の心配あり)



青葉区の火災の原因

(H20年度)

- 第1位 放火(疑いを含む)
- 第2位 たばこ
- 第3位 排気管
- 第4位 食用油加熱出火

*住宅用火災警報器設置に対する給付・補助制度について

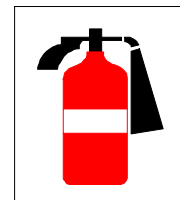
おおむね65歳以上の寝たきりの方やひとり暮らしの方、75歳以上の高齢者のみの世帯、重度障害者(児)で火災の発生の感知等が困難な方などを対象に、購入費用の一部を給付・補助する制度があります。(75歳以上の高齢者のみの世帯の場合は、市民税非課税世帯が対象です。)

安全管理局予防課 045-334-6569

または青葉消防署 045-974-0119

◆火事が起きてしまったら

- すぐに119番に通報する。
- 近所に大声で火事を知らせる
- 消火器などで初期消火をする
- 避難する場合には煙に巻かれないように姿勢を低くし、ぬれたハンカチなどを口に当て煙を吸わないようにして逃げる



* 消火器の設置場所のヒント

台所では一番奥においていませんか? 火元になりやすいところと消火器の場所 置き場所を考えてすぐに見えるように

地震に備える

地震の活動期といわれています。日本のいろいろな地域で大地震が起こっています。私たちはこれらの被災地での問題点を教訓に、いろいろなことを勉強しました。

—大切なものをまもるために—

◆自分の住まいの安全性をチェックしよう

- ・青葉区の地盤は堅いといわれています。しかし、住宅地として開発する際、山を切り開いた宅地ばかりではなく、盛土の宅地も多いことを覚えておきましょう。
- ・盛土の場合には大地震の際には崩れてしまう心配があります。
- ・建物の安全性は確認していますか
 - チェックのポイントは1981年。この年に現在の耐震基準が作られています。また建物は古くなれば脆くなります。建物の健康チェックをしておきましょう。



*横浜市では無料で耐震診断

(横浜市木造住宅耐震診断士派遣制度-横浜市まちづくり調整局)

2階建て以下の木造個人住宅が対象(1981年5月31日以前に建築許可を得て着工したもの)

問い合わせ: 横浜市建築事務所協会「木造耐震診断」事務局 045-662-2711

◆ 住まいの中の安全を図ろう

- ・家がつぶれる
- ・家具は倒れる
- ・インテリアは飛ぶ
- ・照明は落ちる
- ・ガラスは割れる

「物が家が凶器になる」



阪神淡路大地震では、建物の倒壊や家具の下敷きとなって多くの命が失われました。地震の揺れは想像以上で、逃げるところか動くことも出来なくなるのです。

「何も出来ないから、何もしないで済むような安全対策をしておくこと」。これが肝心です。家を凶器にしないためには何をしておくのがよいか…。

地震の時には何もできないと考えながら部屋の中を見まわしてみましよう。

- ・ぶら下がったスタイルの照明器具。固定されていない照明器具は揺れに弱く簡単に外れ落ち、ガラスがはじけてあたりを危険にします。
- ・テレビ、花瓶、電話機、オーディオ機器等、部屋を飾るインテリアは猛スピードで飛びます。避けることも逃げることも不可能で飛ばない工夫をしておくしかありません。
- ・家具はまさしく凶器です。重いタンス、食器棚、本箱等ありとあらゆるものが倒れて襲い掛かり命さえも奪っていくのです。 しっかり固定しておきましょう！！
- ・台所の入口に冷蔵庫を置くと倒れた場合、逃げ出せないこともあります。

◆ 発災時のトイレは使用禁止と考えよう

被災地ではトイレのことが大きな問題としてあつかわれることが多いようです。地震時に生活排水を処理する浄化槽が破損して汚水が漏れてしまう心配があります。想像してみてください。

- ・排泄物を流す管が破損していたら
- ・家の下の汚水管が壊れていたら
- ・道路の下の汚水管が壊れていたら
- ・汚水の処理施設が壊れていたら



※汚水が流れ出ると公衆衛生が悪化し感染症の発生も懸念されます。また、復旧の妨げにもなります。だから、してはいけないこと備えておかなければならないことを考えてみてください。

横浜市では食料や水に加えてトイレパックを備蓄するよう市民に呼び掛けています（広報3月号）猫砂を用意しておく、ビニールに入れて使えば非常時には人間用のトイレとしても利用できます。猫砂は「燃やせて・流せて・におわない」というものを用意すると良いでしょう。

◆ 動物を飼っていますか。

家族同様のペットでも発災時には一緒に避難することは難しいようです。しかし、どんな場面でもペットに関しては飼い主の責任で対応するしかないので。だから、ペットのための備えも必要です。はぐれた場合の身元の確認方法はもちろんのこと災害に備えた日頃のしつけも大切です。



***皮下にチップ装着**

飼い主の情報を入れられるマイクロチップ（長さは1センチ位）を背中下の皮下などに埋め込む。施術費用へ市費 1,500 円、市獣医師会 500 円の助成がある。（H2 1/4 月から）

*横浜市畜犬センターではマイクロチップの読み取り器を設置しているので、迷子の場合も役立ちます。

問い合わせ：横浜市健康福祉局食品衛生課 動物保護管理係 045-671-2467

◆ ライフラインが止まる

- ・ガスがない
- ・火がない
- ・明かりがなくなる
- ・水がなくなる
- ・情報はなくなる
- ・連絡がとれない



ライフラインが止まるということは電気や水が思うように使えなくなるということです。ガスの供給ももちろんストップします。蛇口をひねれば出てくると思っていた水。水がなくなるということは避難生活では深刻な問題です。飲み水だけでなく汚れを落としたりする生活用水も必要です。火事でもおきれば消火する水も必要です。水の供給が受けられるようになって水は運びにくのです。だから水は日頃から備えておくことが必要です。備えておくだけでなく、水を使わないですむ知恵と工夫も合わせて考えておきたいものです。

そんな大切な水をたくさん使ってしまう火事を出さないために「火が危険になる」ことを認識しておきましょう。震災時にはガスが充満しているかもしれません。暗いからといって不用意にライターなどで火をつけてはいけません。電線が切れている場合もあるのでブレーカーを降ろすようにしましょう。復旧は安全が確認できてからですね。

◆ 共助について考えておこう

大地震が起きた時にはすぐには公助が望めないことはすでにご存知だと思います。青葉区は通勤通学（含買物）で日中は7割の人しか区内に残らないというデータがあります。また、通勤・通学者の7割は都内や川崎方面へ移動します。 大地震の際都内にいた場合は、すぐには青葉区にもどってくることはできません。安否確認の方法を考えておく必要があります。



青葉区はしかも！長寿日本一（男性）日中に災害が起きたら…。誰がどんな形で救助活動をするのか。ご近所同士の助け合い精神で力を発揮するしかないですよ。区内で学ぶ中高生の若い力も頼りにしたいところです。

一地域を知ろう一

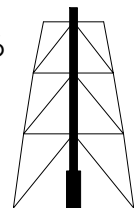
大地震などがおきると、建物が壊れたり木が倒れたり、また、地形が変わったりと街の様子が一変してしまいます。日頃から観察をしながら街を歩き、ハザードマップをつくっておくとよいでしょう。避難場所までの経路は一つではありません。そして、近道ではなく安全な道です。

◆ 街路樹の種類や特性を知ろう

- ・きれいな景観の主役である街路樹ですが災害時には倒木となって避難の妨げになるかもしれません。反対に踏ん張って火災を防いで延焼を食い止めてくれる樹木かもしれません。

◆ 身近なところの危険な場所を知っておこう。

- ・渋谷区での火薬の爆発事故は記憶に新しいと思います。まさかあんな街中に火薬があるとは思いませんよね。身近にある送電線と鉄塔「あぶない」と表示してありますね。工場や研究施設などには危険物がある場合があります。身近なところの危険な場所を認識しておきましょう。その上で安全で安心な暮らしを守るための備えを考えておきましょう。遊水池や街区（小さい）公園も多いと思います。公園の存在価値は子どもの遊び場だけなのでしょうか。遊水池の役割を認識し、また、災害時の公園の有効利用の方法なども日頃から地の皆さんと考えるとおくとよいかもしれません。



* 横浜市民地震防災情報 <http://www.city.yokohama.jp/bousaimap/>

災害危険マップで地震が起きた場合に予想される揺れの大きさと地盤の液状化の可能性、がけの情報を入手できます。【わいわい防災マップ】

◆車を保有していますか。

- ・車は発災時には身近な避難所になります。
 - ・ラジオによる情報収集などもできます。
 - ・ガソリンは常に満タンにしておくように心がけておくとういことです。
 - ・長期間の避難生活ではエコノミー症候群（急性肺動脈血栓塞栓症）の発症の心配もあることを理解しておきましょう。
 - ・運転中に被災した場合の対応に問題があるのです。
その場に止めるか？
通行の妨げにならないところに移動させるか。
そのまま家に乗ってかえるか。
- 運転時の心得を確認して、停止・移動・走行を判断するポイントを理解し、適切な対応が出来るような心構えを身につけておくことが大切です。
- ・ガソリンスタンドは有事の際に水や情報などを提供する救助施設になることを覚えておきましょう。



*災害時帰宅者支援ステーション ステッカーが店頭に表示されています



神奈川県内ガソリンスタンド



コンビニエンスストア
ファミリーレストランなど

都市型水害に備える

近年、台風の上陸数の増加や下水道の処理能力を超える**集中豪雨**が増えています。道路・地下室の冠水やがけ崩れなどは他人ごとではないようです。

下水の逆流でマンホールのふたが開いて水中に見えない大穴をつくることもあります。

V字型にへこんだ道路には水がたまって車が水没するなどの心配もあります。

地面の据え付けのエアコンなども水没して使用できなくなることもあるようです。

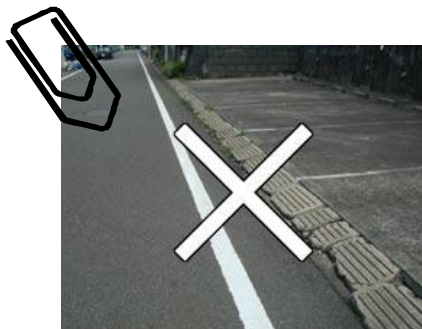
特にゲリラ豪雨といわれる集中豪雨は、短時間に狭い地域に集中して降る上、突発的に降るため予測も困難です。

中小河川の氾濫などの被害も考えられます。

◆私たちが日ごろから気をつけておくことはどんなことでしょうか？

・側溝の土砂や落ち葉を取り除いて水の流れ道を確保しておくことは地域の方と協力してできることでしよう。

・個人の家では駐車場への車の乗り入れブロック等を置いて水の流れ道をふさいだりはしていませんか？ 車の乗り入れブロックを公道に設置することは違法な行為でもありますし、事故の原因にもなるようです。ご注意ください。





災関係機関連絡先 医療機関連絡先 その他便利な連絡先

青葉区役所総務課庶務係 〔青葉区災害対策本部〕	978-2211~2213	地域防災拠点や防災
青葉区福祉保健センター サービス課 福祉保健相談係	978-2444	あおば青葉災害ネット「支えあいカード」
青葉土木事務所	978-2300	道路・水路の補修
横浜市安全管理局危機管理室	671-2169~2127	横浜市災害対策本部
青葉消防署	974-0119	
藤が丘消防出張所	971-0119	
元石川消防出張所	903-0119	
鴨志田消防出張所	961-0119	
すすき野消防出張所	904-0119	
荏田消防出張所	913-0119	
水道局お客様サービスセンター	847-6262	
まちづくり調整局宅地企画課	671-2948	がけ防災担当
まちづくり調整局住宅計画課	671-2943	住まいの耐震診断など
源循環局青葉事務所	975-0025	
東京電力神奈川カスタマーセンター	0120-99-5772	
東京ガス神奈川お客さまセンター	0570-002211	携帯・PHS・IP 電話 948-1100
NTT 東日本	局番なし 116/171	災害伝言ダイヤル
救急医療情報センター	201-1199	救急医療施設の紹介〔24 時間年中対応〕
青葉区休日急患診療所 〔内科・小児科〕	973-2707	診療：9:00-12:00 1:00-4:00
横浜市救急医療センター	212-3535	中区
横浜市北部夜間急病センター	911-0088	都筑区
横浜市歯科保健センター	201-7737	桜木町
東急電鉄	http://www.tokyu.co.jp/	運行情報リアルタイム

家族・知人など共通の連絡先

災害時の家族の集合場所

震災時避難場所（地域防災拠点）

自宅から震災時避難場所までの地図を書いておきましょう